

- ◆ 高市総理から赤澤大臣への「農水大臣とも協力して、農林水産物・食品の輸出拡大に取り組むように」という指示を踏まえ、経産省において、**農産品等の輸出拡大を加速するため、農水省とも連携し、日本の食輸出1万者支援プログラムを4月10日開始。**
- ◆ 経産大臣、農水大臣の下、両省の関係局長（通商政策局長、輸出・国際局長）からなる**連携推進会議**で進捗をフォローアップ・課題を解決（6月3日第1回開催）

## キックオフ会合開催

赤澤大臣、鈴木大臣、小森政務官、地方経済産業局、地方農政局、JETRO、JFOODO、中小機構、GFPが出席



**ポータルサイト開設**  
登録を受け付け、  
支援情報提供  
開始



日本の食輸出1万者支援プログラムポータルサイト

## 3本柱の取組

### 1. 海外における日本産品の新たな需要開拓

- 現地系商流への売込みの強化等 -

- JETROの海外拠点・人員配置を大幅増（→現地ネットワーク構築等）
- コールドチェーンの構築や、植物工場等のフードテックなどに対して、技術開発や海外実証を支援
- 日本の食（ノングルテン米粉等を含む）のオールジャパンでのブランディングと魅力発信

### 2. 輸出プレイヤーの増加

- 掘り起こし強化による裾野拡大 -

- 経産省・農水省の双方の組織（経産局、農政局等）・施策を総動員
- 電子商取引サイト等による支援サービスの拡充、インバウンド向けの購入誘導強化

### 3. 海外ニーズに適った付加価値の向上

- 特に加工食品の輸出 -

- 加工度の高い高付加価値化製品の輸出促進
- 高付加価値化に向け活用可能な施策の拡充

## プログラム開始以降の取組実績

### ○ 海外へのトップセールス



▲5月7日 日EUハイレベル経済対話(ベルギー)で、赤澤大臣より**米菓、清涼飲料水等**をPR（贈呈・会合での提供）



▲5月30日 パリの小売店にて、米粉を含む**日本産食品商品販売状況**などを確認する小森政務官



▲5月13日、**カンヌ映画祭併設見本市**において、JETRO等により、和楽器の演奏とともに おにぎり、和菓子や日本酒など、**日本産食品**を提供、JETRO石黒理事長も自ら魅力発信

### ○ グローバルサウス補助金による海外実証の推進

これまで、インドにおける太陽光発電・蓄電池による冷蔵コンテナを用いたコールドチェーン実証などを採択（4月下旬より新規公募を実施、6月下旬に採択予定）

### ○ 地方経産局、JETRO、中小機構等による輸出プレイヤー掘り起こし

- ① 地方経産局長主導による官民連携体制拡大・再構築  
経産局×農政局×食品輸出事業者による連携協定を締結、地域の事業者の海外への販路開拓などを支援
- ② 経産省・農水省・JETRO・中小機構等共通PF構築  
各機関イベント日程などを同時共有するプラットフォームを構築、セミナーなどの共同開催や関係・取引先への案内を推進
- ③ JETROのオンラインマッチングサイト活用推進  
約80の食関連事業者が新規に登録



経産局×農政局×食品輸出事業者による連携協定（北陸・6月）



海外優良バイヤーとのオンラインマッチングサイト「Japan Street」に登録し、輸出実現



### ○ 補助金による付加価値向上の新規案件組成

- ① **ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金**  
革新的な新製品・新サービス開発や海外需要開拓に必要な中小企業の設備投資等を最大3千万円支援（4月末、約80件の食関係案件採択）
- ② **成長加速化補助金**  
輸出拡大などで売上100億円超を目指す中小企業の投資を最大5億円支援（7月下旬以降採択予定）
- ③ **中堅・中小成長投資補助金**  
中堅・中小企業の大規模投資を最大50億円支援（5月末、約20件の食関係案件採択）



急冷設備導入による世界に誇る高付加価値地酒の輸出（①の事業）



製菓メーカーによる異物混入等AI検査・箱詰め装置導入。人手不足解消と生産能力増強を両立（③の事業）